

鎌沢中部小学校だより

# せおと



平成23年11月22日 第9号 発行者 校長 岡崎紀子

撮影日 H23. 11. 14



## スターになるときを



11月3日(木)のふれあい集会へのご支援ご協力に感謝申し上げます。第1部は舞台発表、第2部はみみづくり・餅つきという内容でしたが、学校としては、このふれあい集会を次のようにならいで取り組んできました。

<第1部>

みんなの心を一つにして、協力して参加する喜び、そして何よりも学習発表会での舞台を経験させることによって、子どもたち一人一人に人前で発表する度胸とか表現力といったものを培いたいと考えています。学校行事は、一人一人の子どものよさを、学校の友達みんなや、保護者、地域の方々等、広く全体に見ていただくよい機会です。学習活動のいろいろな場面で、それぞれの子どもが持っている「よさ」や特質を発揮させたいと考えています。

子どもたち一人一人が輝く「ふれあい集会」を経験することによって、卒業後も中部小学校の思い出として心に深く残り、ふるさと中部を大切に思う子どもになってほしいです。

<第2部>

子どもたちの生活スタイルの変化に伴い、自然や地域との関わりが希薄になってきています。そこで、生産活動やものづくりなどの体験的な学習をとおして農作物の成長や収穫の喜び、勤労の尊さを実感し、「食」について考えさせたいというねらいで第2部を計画しました。依田英治元校長先生にお願いし、5年生が餅米作りを行いました。収穫した餅米で餅をつき、それをみんなが食し収穫の喜びを味わうとともに感謝の気持ちを抱かせたいという願いから設定しました。

みみは、南アルプスの源氏山に抱かれた秘境十谷において、源氏の武将が作って食し戦勝を祝ったという故事からこの集落の祝いの日の代表的な食事として伝えられています。富士川町の郷土料理なので、地域の方々から教えていただき伝承して欲しいという願いがあります。

また、地域の皆さんや子どもたちの作品をとおしてさらに交流を深める機会になるように作品展示も行いました。

このようなねらいでふれあい集会を行いました。地域の皆様、保護者の皆様のご支援ご協力のおかげでタイムスケジュール通り進行することができ、改めて中部地区の団結力を実感することができました。

第1部では、民謡部の皆さんの発表、高校生の発表と「私の主張」、そして、児童の発表等どれも文化の日にふさわしい出し物でした。

また、第2部では、食生活改善推進員さんやすみれ会の皆さん、中部地区教育推進協議会専門部員、保護者の皆様のご協力でご目的を達成することができました。ありがとうございました。



鼓笛演奏をステージで披露



見て、見て！  
ポクかんぽったよ！

一輪車演技「スロローム」一本橋・回車・全員でついで



詩の朗読  
「まっすべつてんこ」

独楽まわし  
「お手玉」

朗読  
「花さき山」



独楽まわし  
「カツオの一本釣」

詩の朗読  
「星とたんぽぽ」

リコーダー独奏  
「エーテルワイズ」



リコーダー独奏  
「一輪の赤い花」

ピアノ独奏  
「さんぽ」

バイオリン独奏  
「子どもの世界」



ピアノ独奏  
「アハの」

ピアノ独奏  
「メヌエッタ」

リコーダー独奏  
「この星に生まれて」



中部地区民踊部のみなさんです  
舞踊「恋ごよみ」「武田二十四将」



2人とも本校の卒業生です  
バイオリン独奏「ひまわり」  
歌唱「One Love」



食生活改善推進員さんとの打合せは、6  
回回り綿密なタイムスケジュールをたて  
ました。前日には野菜を全て切り、だし  
もとり準備万端！当日も朝8時から準備  
していただきました。  
保坂金子様、保坂公恵様、育藤雪枝様、  
望月勝江様、望月仁美様、ありがとうございます。

餅をちぎるのは、すみれ会が担当です  
大きな粉や餡を付けるのは女性担当です  
依田栄子様、深沢みち江様、野中よし  
子様、野中みち江様、保坂よし子様、  
雨宮佳子様、望月文子様、深沢美智子  
様、ありがとうございます。

一輪車の演技、大輝くんの頑張りのすばらしさは、安藤さんの励ましが実を結んだんですね。よい出会いを作っていたからこそ、子どもたちのよい思い出になります。外部からの刺激も必要な栄養になるのですね。

構成劇「八郎」は、子どもたちが、心を一つにして向かってくる力強い表現で強く心に響きました。先生方の「八郎」の声も保護者の皆さんの最後の合唱も劇をしっかりと支えて中部小の強さを見たと思います。みみも餅もおいしくいただきました。

素晴らしいふれあい集会に参加させていただきました。ありがとうございます。十二人の子もたちが自分の持ち味を十分に発揮していて本当に感動しました。一人一人を大切にのびてくださっている先生方の姿勢が至る所に感じられ、感謝の気持ちでいっぱいです。

計画段階では、うまく作れるのか、進行できるのか不安がありました。地域の方々の協力で楽しく中部小らしいアットホームで有意義の時間が過ごせました。子どもたちの発表も個人発表という事で負担になるのではと心配していましたが、堂々と発表している姿に感動しました。特に一年生の大輝くんの「まっすくについて」には感動し、素晴らしい発表でした。自分の子どもに課するのはなくお友達の一生涯懸命に頑張りました。私も「がんばらなくては」とエネルギーをいただきました。芸術の秋にふさわしい時間が過ごせました。

「意見や感想をお寄せいただき、ありがとうございます。」



みみは、合計約600個作りました。子どもたちも手際よく箕の形にしています。



専門部の皆さんが餅つき、会場設営、調理器具借用返却等に大活躍でした。ありがとうございます。

終始、地域の方々や職員の方々、子どもたちとの力が結集された素晴らしい集会であった。楽しい一日をありがとうございました。

演技が終わるとPTAの方々が一斉に動き出し餅つきの準備・みみづくりも始めた。流れるような作業でたちまちお餅とみみはできあがった。それぞれの持ち場持ち場で見事なチームワーク。グループ毎に子どもが割り当てられ少しでも違う世代の交流も考えてのことだと思ふ。私の隣には四年生の雄輝くん、聞いたことにははっきりの答えてくれた。

私は毎日のように中部小の日記を見ているので十二人の子も私たちの様子を知らたくて出かけることにした。(中略)  
発表が始まった。進行も子どもたちのきはきした口調で進められた。堂々と胸を張って鼓笛演奏も一輪車演技も見事にこなした。一本橋を渡れずに途中で落ちてしまひるびことなく演技を続けていた。けがをして演技のできなかった子は一年生の走り出しをサポートしてあげてくれた。個人発表では独楽回しなどユニークなものもあり楽しかった。失敗をおそれず立ち書いて演技したこと、私などとてもまねできないことだ。詩の朗読、ピアノ・リコーダー・バイオリン演奏等の子も一生懸命さが表れていて感心してしました。中でも一年生の詩の朗読はすばらしいものだった。卒業生の二人の歌唱、バイオリン独奏は子どもたちに将来の夢を抱かせるものになったと思ふ。構成劇「八郎」はPTAの合唱も加わり、職員全員が力強い発声に感動してしました。地域の人たちが一緒に踊っていた中部音頭。子どもたちが裏面に踊っていて伸びた指先に思わず微笑んでしました。(中略)



みんなで食べると余計おいしいね！こんな声が聞こえてきそうですね。12時30分には、いただきますができました。